

斜面安定計算システム PowerSSA CAD データ断面読み込み機能説明書

機能概要

斜面安定計算システムPowerSSA では、解析地形の断面図を DXF 形式または CRAFT5 形式の CAD データから取り込むことができます。

地形線、地層境界線、水位線、すべり面 の4要素を取り込むことができます。

操作手順

1. [ファイル]-[データ互換]-[CRAFT5形式/DXF形式から追加] メニューを選択します。



2. [ファイルを開く]ボタンをクリックします。

3. ファイルの種類を選択します。

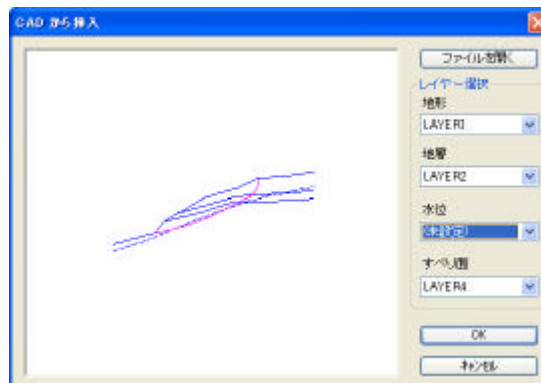
CRAFT5形式を選択する場合は「ファイルの種類」を”CRAFT5ファイル(*.cfv)”とします。

DXF形式を選択する場合は「ファイルの種類」を”DXFファイル(*.dxf)”とします。

4. ファイルを選択します。

5. レイヤーを選択します。

地形、地層、水位、すべり面が保存されているレイヤーを選択します。読み込みの必要のない要素は“(未対応)”としてください。



6. 正常に読み込まれた場合、“構成要素”ツリービューに追加されます。

CRAFT5 データ仕様

- ・地形、地層、水位は連続線であること。地形、水位は1つのレイヤーにつき1つの連続線を読み込みます。地層線は1つのレイヤーにつき複数の連続線を読み込みます。
- ・地形、水位については、1つのレイヤー内に複数の図形要素がある場合、PowerSSA にどの図形を読み込むのか不定となるため、正常に読み込めません。この場合は読み込み対象のレイヤー内に図形が1つになるよう、CADデータを編集してください。
- ・すべり面は1つのレイヤーに複数の連続線、単独線、円弧が混在している場合、接続して読み込まれます。

DXF データ仕様

- ・読み込み可能な DXF ファイルのバージョンはR12 または R13 です。R14 以降の場合正常に読み込めません。AutoCAD から書き出しする際に、R12形式またはR13形式としてください。
- ・地形、地層、水位、すべり面はそれぞれ別のレイヤーに保存されている必要があります。
- ・地形、地層、水位の各要素はPOLYLINE図形である必要があります。
- ・すべり面は POLYLINE,LINE,ARC が混在していても読み込み可能です。
- ・地形、水位については、1つのレイヤー内に複数の図形要素がある場合、PowerSSA にどの図形を読み込むのか不定となるため、正常に読み込めません。この場合は読み込み対象のレイヤー内にPOLYLINE図形が1つになるよう、CADデータを編集する必要があります。
- ・読み込み後の座標原点が図形全体の中心となるため、[設定]-[現場の設定]から座標軸の範囲を調整してください。